

ふんぽりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.32

2021年10月発行

国際交流員退任 ありがとうダニエル!



▲退任式で山田市長より感謝状を受け取るダニエルさん。
これまでの功績を称え、「白山市国際友好表彰」も同日授与されました。



C.O.N.T.E.N.T.S

■ 特集 ありがとうダニエル	1 ~ 3
■ HIA トピックス 多文化共生講演会開催	3
■ 国際交流サロンのページ	4 ~ 5
■ HIA だより	6 ~ 7
■ ホームステイ交流 OB コーナー	7
■ HIA からのお知らせ	8

国際交流員のダニエル・ヘリオットさん(イギリス出身)が、白山市での4年2か月の任期を終え、今年9月に退任されました。ダニエルさんは、2017年7月に本市初の国際交流員として着任され、姉妹都市をはじめとした海外との交流に通訳として活躍したほか、まちかど市民講座や市内こども園訪問などを通して、地域の皆さんと交流を深めました。

また、白山市国際交流協会においても、サロンでの英会話教室、国際交流の集いなど、さまざまなイベントを通して協会員の皆さんと触れ合い、その飾らない人柄で多くの人に親しまれていました。

特集

ダニエル 白山市での思い出アルバム

これまでのダニエルさんの活動を、写真を通して振り返ります！

● 親善友好都市交流事業



▲2018年の英国ポストン町中学生ホームステイ交流派遣事業において、白山市生徒12名と姉妹都市ポストン町へ



▲海外親善友好都市グリーティングカード交換事業では、小学生にイギリスのカード文化や英語でのメッセージの書き方を紹介



▲2019年の米国コロンビア市姉妹都市提携30周年記念訪問団に随行。現地での公式行事や視察で通訳を務めました。

● サロンで英会話講座を開催！



▲子どもから大人まで、多くの参加者に英語を話す楽しさを伝えてくれました。



● 地域の外国人住民をサポート



▲乳幼児検診やハローワークなど、様々な場面で通訳サポートを行いました。

● 協会イベントでも大活躍！



▲「ハロウィンデー」ではピエロ姿で参加！ALT・EIたちとイベントを盛り上げました。



▲年末恒例「国際交流の集い」では、毎年、名司会ぶりを発揮！



▲「はくさんキッズ英語スクール」の様子。ダニエルさん考案のゲームは子どもたちに大人気でした。

● 白山市の魅力発信にも貢献



▲2019年のHABふるさとCM大賞に出演し、見事グランプリを受賞！



▲「尾口のでくまわし」を海外に発信するため、英語版の動画作成にも尽力しました。



▲白山市公式YouTubeチャンネルにおいて、市内の観光スポットを英語で紹介！

ダニエルから皆さんへメッセージ



こんにちは！約4年間の白山市での任期を終え、新しい環境に飛び込むというワクワクと裏腹に、白山市の豊かな自然、親しくなった白山市民の皆さん、そして心とむこの生活から離れるという寂しさもあります。

僕は新しい挑戦こそが人を大きく成長させてくれると思っています。白山市の国際交流員として、数えきれないほどの初挑戦をし、人として成長できたことは、白山市のおかげだと思い、心から感謝しています。ご縁があった方々との繋がりが共有している思い出は白山市を離れていても消えることなく、これからも大切にしていきたいと思っています。

9月から東京で勤務することになりましたが、コロナが落ち着いてきたらまた白山市に遊びに来たいと思っているので、白山市の素晴らしい大自然の中で僕の姿を見かけたら、是非声をかけてください！

ダニエル・ヘリオット（2021年8月25日）

H.I.A. TOPICS

白山市多文化共生講演会「私は私のままでいい」

7月11日（日）に松任学習センタープララにおいて、ジャズシンガーのCHIKO（チコ）さん（富山県出身）を講師にお迎えし、多文化共生講演会を開催しました。

CHIKOさんはアフリカ人ミュージシャンの父をもち、外国にルーツをもつ子どもとして幼少期を過ごされました。第一部の講演会では、肌の色や髪質の違いによって受けた、日本人からの無意識の差別や、“普通”との違いに悩んだ時に母・昌子さんからかけられた言葉など自身の経験を通して、「ありのままの自分を認めること」について話されました。

第二部のミニコンサートでは、「こきりこ節」や「糸」など日本歌謡のほか、アフリカの民謡、ジャズなど、多彩なジャンルの楽曲を披露しました。ホールいっぱいに響くCHIKOさんの力強い歌声に参加者は聞き入りました。



▲講演会では、富山での学生時代や歌手を目指したきっかけなど様々なエピソードを紹介。



▲アンコールを含めて6曲を披露。圧巻のステージに参加者からは大きな拍手が送られました。



▲お父様のB.B.モフランさんとCHIKOさん（本人提供写真）

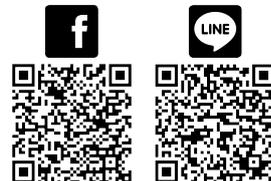
～参加者の感想～（アンケートより抜粋）

- ・日本人でもひとりひとり違います。私も日本人としてはやや地黒です。肌の色も髪質もすべてが個性。CHIKOさんは素晴らしい個性のかたまりだと思いました。
- ・周りに外国の方（特に肌の色が自分とは違う人）がいないので、自分には差別意識はないと思っていました。しかし、CHIKOさんのお話を聞き、「差別」はどこにでもあると思いました。
- ・外見だけで判断することが多かったと反省しています。話を聞くと考え方は何も変わらないと分かりました。とにかく知ることが大切だと思いました。
- ・最初の深い響きのある歌声にぐっと引き込まれました。特に「自分の文化を大切にできないと他の文化も大切にできない」と聞いた後の「こきりこ」（富山県民謡）は心にぐっときて涙が出ました。たくさんのパワーをもらえました。

白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
 休館日 月曜日（月曜日が祝日でも休館）
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館カルチャー棟2階）
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP https://hia-salon.jp/

国際交流サロンのSNSでつながりましょう。
 LINE公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



日本語部会

わいわいカフェ

6月20日(日)

この日のテーマは『ふるさとVS白山市！』
 皆さんのふるさとや行きたいところについて話しました。金城短期大学の皆さんも参加し、持参したオリジナルトランプやカルタを使って盛り上がりました。

外国人学習者たちは、「白山市は住めば都！」「静かで食べ物がおいしい白山市が好きです」と話してくれました。コロナが収束したら、山ろくでのバーベキューや市内バス旅行などでもっと白山市の良さを知ってほしいと思います。



▶白山市とふるさとの良さについて話し合う学習者と日本人住民

にほんごカフェいしかわ

7月25日(日)

市内で最も外国人住民数が多い石川地区で2か月に1回開催している「にほんごカフェいしかわ」。5月の開催が中止となり、7月が今年度初めての開催となりました。

この日のテーマは『暑い夏の過ごし方』。夏を涼しく過ごす工夫についてみんなで話し合いました。“風鈴”、“すだれ”は参加した日本人の若者も知らなかったよう。暑い暑いと言いながらも、バトミントンや卓球も楽しみました。それにしても最近の日本の夏は、命に係わるくらいの暑さです。“夏バテ”、“熱中症”も覚えて欲しい日本語です。



▲外国人住民11名、日本人住民14名が参加し、グループで交流しました。

▼暑い中でもスポーツは真剣勝負！



コロナ禍の外国人住民へ支援の輪

ふれんどりいBOX設置！

4月4日(日)

協会の方よりコロナ禍で困っている実習生たちに何かしたい、との声があがり、サロンに「ふれんどりいBOX」を設置しました。

「ふれんどりいBOX」はサロン独自のフードドライブ活動です。協会の皆さんに家庭で余っているお米やインスタント食品などの寄付を呼び掛けたところ、多くの方が物資を持ち寄っていただきました。中には、自家製の野菜やマスクなどの日用品もあり、実習生たちは感謝しながら受け取っていました。



▶たくさんの寄付が集まった「ふれんどりいBOX」コーナー

白山商工会議所女性会から寄付を頂きました。

7月3日(土)

白山商工会議所女性会から食料や日用品などの寄付を頂きました。当日は女性会の皆さんがサロンを訪れ、11名の実習生たちにフードドライブ事業で集めた食料品などのセットを渡しました。また、当日来られなかった在住外国人へも後日サロンから渡し、皆さん喜んで受け取っていました。



あたたかいご支援、ありがとうございました！

◀女性会の皆さんから袋を受け取る実習生たち

国際理解講座「ネパールについて学ぼう！」

4月3日(土)

昨年11月に来市したネパール出身のカルキさんファミリーに、母国の美しい自然や文化についてお話しいただきました。

講座では、お父さんのスダルサンさんと娘のスバサナさんが、世界遺産・ダルバール広場や「生き女神・クマリ」について、またネパール語の挨拶などをやさしい英語で紹介しました。その後、お母さんのシャルミラさんが、母国を離れ、なぜ日本に働きに来ることになったのか、ネパール地震後の人々の生活など現在の厳しい国情について話しました。

当日はオンラインを含め24名の参加者が集まり、講演終了後には「日本と白山市のために尽くしたい」と語ったカルキさんファミリーに、エールの拍手を送りました。



▲鮮やかな民族衣装を着たカルキさんファミリー

ネパール・コロナ募金に協力

上記講座で講演されたシャルミラ・ターバさんが、今年5月末、母国のコロナ感染者を支援するために募金活動を行い、国際交流サロンも募金箱の設置に協力しました。サロンには、協会員や市内外の多くの方から募金が集まり、中には、「ネパールの皆様、コロナに負けないでください。私たちも応援しています。」といった激励の手紙が入ったものもあり、シャルミラさんは皆さんの善意に大変感激していました。

募金にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



▲募金活動を行った在住ネパール人の皆さんと石川県ネパール協会の島崎さん(左)



友だちの輪 (外国人市民を紹介するコーナーです)

ソ・ジュンホさん (25歳、韓国出身)

皆さん、こんにちは。私はソ・ジュンホと申します。日本に来て2年半ぐらいです。私は日本人の妻と結婚して今は石川地区に住んでいます。妻とは国際交流で高校生の時から知り合って結婚しました。

白山市に住んでみて、本当に楽な気がします。自然と近い感じで、山も、海も、田んぼもある白山市が好きです。人生に余裕がある感じです。

現在は金沢でプログラマーとして働いています。コロナが落ち着いたら、皆さんに韓国語やパソコンを教えたいと思いますので、興味がある方はぜひ参加してください。良い友達になれると思います。

国際理解部会

学生対象国際理解ワークショップ 「世界がもしも100人の村だったら」 8月8日(日)

JICA北陸職員の甲斐翔子さんを講師にお迎えし、世界に住む人々を「100人の村」に見立て、貧困や環境問題について考えるワークショップを行いました。

当日は中学生から大学生まで10名が参加し、フードロスや教育格差など、世界で今起きている様々な問題について学びました。最後は、「学校に行けないことでどんなことが起こるか」、「今自分にできること」についてグループワークを行い、考えを発表しました。

参加者からは、「今の生活が当たり前ではないことを心に留めておきたい」、「自分のこれからの行動を考えるきっかけとなった」などの意見が聞かれました。



◀ JICA 隊員として派遣された、フィジーの民族衣装を着て講演を行う甲斐さん

共生交流部会

子育てママ交流会「くれよんカフェ」

7月2日(金)

「おやこの広場あさがお」と連携し、2か月に1回、外国人・日本人ママ交流会「くれよんカフェ」を開催しています。

7月のテーマは「七夕 星に願いを！」。七夕行事の由来や、中国、ベトナム、フィリピン出身の参加者の皆さんからそれぞれの国の七夕文化について聞きました。折り紙で七夕飾りを作成し、短冊に願いを書いて笹に飾りました。日本の季節を感じる楽しい交流ができました。

母国とは制度も習慣も違う日本での子育てはとても大変。「日本のふつう」が分からない外国人ママが多く、今回も「あさがお」のスタッフから入園、育児についてのアドバイスをいただきました。少しでも皆さんのお役に立てたらと思っています。



◀七夕の飾りつけを行う参加者たち

オンラインでの姉妹都市交流が盛んです!

オーストラリア・ペンリス市高校生とのオンライン交流

3月20日(土)

ペンリス市ホームステイ交流派遣生であった本市高校生7名が、オンラインでホスト生徒やペンリスハイスクールの生徒たちと交流しました。

白山市の生徒は2019年にペンリス市を訪問し、翌年春に同市生徒を受け入れる予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大で受入が中止となり、交流ができないままとなっていました。今春から大学進学等、新しい進路に進む生徒も多かったため、事業の一つの節目として、ペンリス市生徒とオンラインで再会を果たしました。交流会では、久しぶりに会うホスト生徒とお互いの近況を報告し、「コロナが収束したら会おう」とメッセージを送り合いました。



▲オンライン交流会の様子



▲英語で近況報告する生徒たち



▲画面越しのペンリス市生徒の様子。日本語を学ぶペンリス市生徒も参加しました。

中国・^{りっよう}溧陽市お茶まつり開幕式テレビ中継

4月10日(土)

溧陽市最大のイベントである「お茶まつり」の開幕式に、白山市からテレビ中継で参加しました。

当日は、溧陽市の会場と白山市をテレビ中継で繋ぎ、山田市長が「お茶まつり」の成功と両市の友好を願うメッセージを送ったほか、「和太鼓サスケ」による力強いパフォーマンスで開幕式に華を添えました。

開幕式の様子は中国全土にネット配信され、視聴者からは「子どもたちの太鼓に感動した!」、「白山市との友好が長く続いてほしい」とのコメントが寄せられました。



▲和太鼓サスケのパフォーマンス



▲26年間の交流で、溧陽市から送られた記念品を紹介



▲溧陽市での中継の様子

イギリス・ボストン町中高生とのオンライン対面式

7月24日(土)

今年来市予定であった7名のボストン町生徒たちより白山市生徒とのオンライン交流を希望する声が挙がり、本市から交流に意欲のある8名の生徒が参加しました。

初めての顔合わせとなった対面式では、家庭ごとに自己紹介をしたのち、日本とイギリスに関するクイズゲームを行うなどして盛り上がりました。対面式後はペアの家庭ごとにメールやSNS等での交流をスタートし、お互いの友好を深めています。



▲練習した日本語で自己紹介をするボストン町生徒



▲「東京の人口は?」や「イギリスで一番高い山は?」といったクイズに挑戦!お互いの国を知る良い機会となりました。

ホームステイ交流OBコーナー

市では親善友好都市3都市と中学生・高校生を対象にホームステイ交流を行っています。(2020年よりコロナ禍で休止)本コーナーでは、かつてホームステイ交流事業に参加したOB・OGの皆さんからのお便りを通して、青少年期に体験した同事業との関わりについてご紹介しています。

とくがわ あかね
徳川 茜さん

布市二丁目在住(旧姓・田中)。中学3年生時に2000年(平成12年)度米国コロンビア市中学生派遣事業に参加。県外の大学を卒業後に地元へ戻り、大学病院で看護師として勤務。現在6歳、3歳、0歳の子育て中。

「14歳の夏」

同居していた祖母が国際交流に積極的であったことから、JAPAN TENTに参加するなど幼少期より海外の人と触れ合う機会も多く、私の中では海外でホームステイをすることは自然なことだったのかもしれませんが、いつの頃からか憧れていたコロンビア市派遣事業への参加が決まった時は、夢が1つ叶ったようでとても嬉しかったことを覚えています。

アメリカに到着して吸った空気、匂い、目に入る物、時差、飛行機で移動してもわかる国土の広さ、全てが刺激的で一気にアメリカという国に魅了され大好きになりました。星条旗が揚がったホワイトハウス、ライト兄弟が作った飛行機、アポロ号など知識では知っている物が目の前にあったという感動は今でも覚えています。大好きだった海外ドラマの舞台、サンフランシスコの坂道にケーブルカー、住宅が並んだ街並みを目にした時は嬉しかったです。

ホストファミリーはセーラームーンが大好きな女の子でした。紙の辞書を使って懸命にコミュニケーションを取ったこと、会話や生活の中で新しい単語や言い回しを覚えられたこと、言葉を知らなくて別れ際に感謝の言葉をしっかり伝えられなかった悔しさもはっきりと覚えています。旅行ではなくホームステイで現地の人と共に生活することは、文化の違いを肌で感じられました。土足の生活や日本の家屋とは全然違う間取り、大きな庭、初めてのオートミールはどうしても口に合いませんでした。そんな中で日本のことを聞かれても、きちんと答えられない自分。語彙力の問題ではなく「知らない」ということにも気づきました。そして他の国のことを知ると、自分の国の良い面、劣る面を知ることでもできると学びました。受験生としての夏休み、そして中学校最後の吹奏楽のコンクールに出られないという選択をしたとしても、とても価値のある経験でした。

残念ながら今でも英語は苦手なのですが、海外の人と話すことに大きな抵抗がないのはホームステイをしたということが自信に繋がっているのかもしれませんが、学生時代や看護師として働き始めてからも友人と年1～2回海外旅行を楽しみました。今は子育て中でもあり、コロナ禍なので簡単に海外旅行とはいきませんが、機会があればできる限り子供たちにも外国を経験させたいと思っています。14歳の夏に経験したことが、私の考え方や生き方に大きな影響を与えたことは間違いないと自信を持って言えます。



▲ホストファミリーと



▲家族で旅行



▲初めてのHS受入れ
(祖母とわたし)

◎派遣生OBの皆さんからの投稿をお待ちしています。市役所国際交流室 toshikouryu@city.hakusan.lg.jpまで。

H.I.A.からのお知らせ

白山市美川国際協会から 寄付いただきました

白山市美川国際協会より、白山市国際交流協会へ**66,539円の寄付**を賜りました。

いただいた寄付金は、本市の国際交流事業推進のために大切に使用させていただきます。

あらためて厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

【主催：松任児童館、松任図書館、白山市国際交流協会】 3館合同「ハロウィンデー」

ALT・EIの先生たちと一緒にハロウィンを楽しみましょう！
お気に入りの衣装＆マスクで参加してね！

日時：10月31日(日)午後1時30分～午後3時

会場：松任文化会館ピーノ3階

内容：英語の絵本の読み聞かせ
衣装パレード
世界のゲームであそぼう！

定員：市内小学生 30名(先着順・申込要)

申込期間：10月4日(月)～20日(水)

※感染拡大防止のため、保護者の同伴をご遠慮ください。

お申込・問い合わせ：国際交流サロン(274-3371)



幼児親子対象

英語イベントを開催します！

カナダからきたアンドレア先生と英語の歌やゲーム、クラフトで遊びましょう！

日時：11月14日(日)10:00～11:00

講師：江崎 アンドレア さん

会場：国際交流サロン

定員：親子10組(先着順、申込要)

対象年齢：2歳から6歳まで

申し込み：10月26日(火)より受付開始

お申込・問い合わせ：国際交流サロン(274-3371)



イベント情報&お知らせ配信中！

サロンの公式LINE、またはE-mail会員にご登録いただくと、楽しいイベント(世界の料理教室、国際理解講座など)のご案内や協会からのお知らせが届きます。

ぜひご登録ください！



〈LINE公式アカウント登録方法〉

①右のQRコードを読み取り、「追加」ボタンを押してください。

②「友だち追加」の「ID検索」より、

@805wfnfyと入力してください。



〈メール会員登録方法〉

サロンメールアドレス misalon@asagaotv.ne.jp へ、ご住所、お名前の明記と「E-mail登録希望」と書いて、送信ください。

白山市国際交流協会のホームページが 新しくなりました！

今年4月よりホームページがリニューアルし、より見やすく、より使いやすくなりました！

新しいホームページでは、イベントや日本語教室の申し込みができるほか、多言語にも対応しています。

今後は在住外国人向けの生活情報を掲載するなど、ますます内容を充実させていきますので、ぜひチェックしてみてください！



誰でも気軽に交流できる場所

白山市国際交流サロンは白山市国際交流協会が運営する場所です。住民に開かれた国際交流をめざして2002年12月に開設されました。外国人向けの日本語教室や生活相談を行っているほか、国際理解・多文化にふれあう交流イベントを開催しています。国籍や文化の違いを超えた交流の場「国際交流サロン」へお気軽にお越しください。



▼こちらのQRコードよりアクセスできます。



募集の申込み・問い合わせ

国際交流サロンまで Tel&Fax：076-274-3371
E-mail misalon@asagaotv.ne.jpまで

編集後記

コロナウイルス感染拡大発生から1年以上が過ぎ、今や姉妹都市交流はオンラインが中心となりました。時差にさえ注意すれば、すぐに海外の方々と繋がることができる手軽さは便利だなと思う反面、通信が途切れた後の真っ暗な画面を見ると、直接会うことで感じる「人のあたたかさ」や「交流の余韻」のなさに寂しさを感じます。オンラインでの最後の言葉は決まって「コロナが収束したら必ず会いに行きます！」。その言葉が実現する日を楽しみに、引き続き各国の皆さんと「密」な関係を続けていきたいと思えます。(A)

発行■白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)
事務局/白山市役所観光文化スポーツ部国際交流室
TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546
E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp
白山市国際交流サロン
TEL・FAX 076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp